

Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

穏やかな出航

Date : 2015/01/30 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 雨 気温 : 2.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



南太平洋グランドクルーズ、ついに出航の日がやってきました。関東近郊では早朝から雪が降り出して地面に積もるほどでしたが、皆さん無事に乗船されたようですね。南半球へと向かう今回のクルーズの帰国は3月20日ですから、多くの方にはこれが今シーズン最後の雪になるのかもしれません。

雪が雨に変わった横浜での出航セレモニーはいつもに比べて穏やかでした。それでもご家族の方など多くの皆さんが見送りに集まってくださったようです。船のデッキと栈橋とを挟んで「いってきまーす」「いってらっしゃーい！」という大きな声のやりとりが、あちこちから聞こえてきました。

小久江尚キャプテンらが花束を受け取り、ブラスバンドの演奏に見送られて飛鳥IIは定刻通りの午後2時に横浜港を出航しました。ベイブリッジをくぐり東京湾を後にして、一路神戸へ向かいます。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

一路、南へ

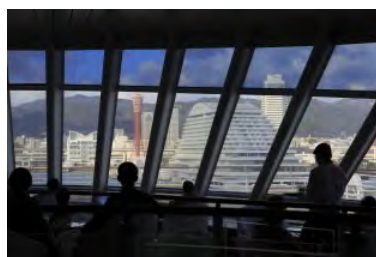
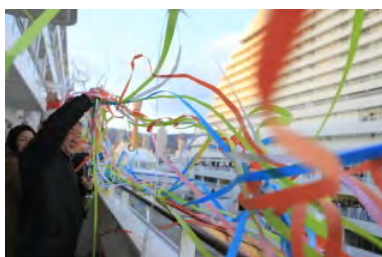
Date : 2015/01/31 緯度 : N 34度 29分 経度 : E 135度 6分 天気 : 曇り 気温 : 6.0度 速度 : 15.8ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



飛鳥IIは朝日を背に受けながら紀伊半島を回り込み、友ヶ島水道から大阪湾へと進んで午後2時に神戸港へ入港しました。きのうとは打って変わって晴れ間も覗くまづまづの天気。神戸からご乗船のお客さまを迎えて、船内はだいぶ賑やかに、クルーズらしい雰囲気になってきました。

夜には今クルーズがデビューとなる小久江尚キャプテンらが、航海の安全と楽しい旅路を願って盛大に鏡開き。リピーターの方々でしょう、船内には久しぶりの再会を果たした笑顔も多くありました。

外は風が強くて寒かったですね。けれども何と我々にとっての冬は今日でおしまい。飛鳥IIはこれから真夏の南半球へと向かうのです。次の寄港地サイパンまでの所要は4日。数日後には早くも半袖シャツの陽気になるはずです。それでは日本の皆さん、行ってきます！！



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

フォーマルナイト

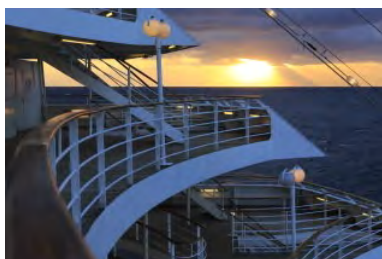
Date : 2015/02/01 **緯度** : N 29度 43分 **経度** : E 137度 56分 **天気** : 曇り **気温** : 14.0度 **速度** : 18.5ノット
海域 : 太平洋 **寄港地** : 終日航海日



きょうは日本を発って最初の終日航海日です。ようやく本格的なクルーズライフが始まった、という空気が船内には流れています。日中は囲碁やコントラクトブリッジなどの各種教室説明会が続き、さてこの船旅をどう過ごそうか、と皆さん思案しているようでした。

夜は今航海最初のフォーマルナイト。キャプテンズ・ウェルカム・パーティーがギャラクシーラウンジで華やかに行われました。これまた今航海で初めて船長として指揮を執る小久江キャプテンが満を持して壇上に現れ、開口一番「いやあ、やっと船長になれました」という一言で、客席の笑いを誘っていました。

副船長、機関長、ホテルマネージャーと次々に紹介する中で、キャプテンは「彼とはこの船で、そして彼とはあの船で」というふうに、多くが一度は同じ船に乗り組んだ縁だと教えてくれました。仲間への信頼と気遣いの伝わるそんな言葉に「新船長のお人柄が見えるようだね」と仰るお客さまがいたのも印象的でした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

すし匠の中澤圭二さんが「海彦」に

Date : 2015/02/02 緯度 : N 24度 38分 経度 : E 141度 18分 天気 : 曇り 気温 : 17.0度 速度 : 15.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIは午前11時ごろにやや速度を落とし、硫黄島を右手間近に望んで航行しました。絶海の孤島をひと目見ようとデッキに集まったお客さまの前には運よくクジラがジャンプ！ここに掲載する写真は小さいですから、ちょっと拡大してみましょうか。左下の写真で丸く囲んだところ、ほら、すごいでしょ？

さて、実はいま、東京・四ッ谷「すし匠」主人の中澤圭二さんも乗船しています。昭和と平成の寿司屋の違いや魚の熟成についてを語った昨日のトークショーに感銘を受けた方も多いことでしょう。その中澤さんが飛鳥II史上で初となる11デッキの寿司「海彦」のゲストシェフとして、3日間限定で登場しています。

魚には刺し身、握り、炙り、焼きと、調理法に応じて最善の寝かせ具合があるそうです。それを熟知し、なおかつ今年末に四ッ谷を閉めてホノルルへ拠点を移す中澤さんは、「世界の魚を美味しくしてみたい」という大きな夢があるそうです。飛鳥IIとのかような素敵なコラボレーションも、今後の展開が楽しみです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ブリッジオープン&節分

Date : 2015/02/03 緯度 : N 19度 11分 経度 : E 143度 44分 天気 : 曇り 気温 : 23.0度 速度 : 15.4ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



日本を後にして3日目。気温は早くも25度まで上がるとのこと、半袖のお客さまも増えてきました。穏やかな航海日となった今日は、ブリッジオープン（操舵室見学）がありました。皆さんクルーの帽子をかぶって記念撮影したり、さまざまな機械や海図を覗いてみたり。

また午前11時から「節分イベント 鬼退治！」をプールサイドで盛大に開催。クルーズスタッフが鬼たちや囚われの姫、それを助ける4人の一寸法師に扮して登場しました。

桶の小舟で4人が競争をしたのですが「予行演習の時と違って」プールに波があり、どの一寸法師もすぐに転覆する頼りなさ（笑）。果たして姫は無事に救出されたのか……。ともあれ暖かくなって晴れ間も覗き、海の色も途端に深い藍色になりました。やっぱりクルーズはこうでなくっちゃ、ですね。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

サイパン半日観光

Date : 2015/02/04 緯度 : N 15度 14分 経度 : E 145度 44分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : サイパン



夜が明けてすぐ、入港予定時刻の午前7時には飛鳥IIは港に接岸していて係留作業を始めていました。南太平洋グランドクルーズ最初の寄港地となるここサイパンでは、筆者は午前中の「サイパン半日観光」にご一緒しました。晴れ間にも恵まれた、南国らしい一日です。

専用バスで巡った場所は、戦時中に旧日本軍司令部があった洞穴のようなラストコマンドポスト、バンザイクリフ、バードアイランド展望台、日本人による往時のサトウキビ生産を偲ぶ砂糖王公園など。鳥たちの聖地となっているバードアイランドを望むすがすがしい高台で、皆で記念写真を撮りました。

免税港のサイパンだけにお買い物にいそしむ方も多かったはず。夕方にはプールデッキで賑やかに「ボン・ヴォヤージュ」のイベントが行われ、飛鳥IIは碧い海に囲まれた南の島を後にしました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

船上の愉しみ

Date : 2015/02/05 緯度 : N 9度 41分 経度 : E 145度 30分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



サイパンを発った飛鳥IIは進路180度、完全なる真南に向けて航行しています。昨日のサイパンでは「温暖なところに来た」程度でしたが、きょうの甲板上は照りつける陽射しで完全に「暑い！」という印象。昼にはフォーシーズン・ダイニングルームで涼しげな冷やし稲庭うどんを味わって、身も心も真夏です。

明日の夕方には赤道を通過して南半球に入ると聞きました。これから6日をかけてオーストラリアのケアンズまで行くわけですが、中5日の終日航海日もさまざまなイベントがあるので飽きることはありません。

船上の愉しみの最たるものは毎晩のショーに違いありません。今宵はオーストラリア出身のロス・マイオさんのアコーディオンコンサート。目を見張るほどの素早い指遣いで幾多の音色を奏で分け、茶目っ気たっぷりの片言の日本語で笑いを誘う、エネルギッシュでユーモア溢れるステージに皆さん心奪われてしまったようです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

デッキにて

Date : 2015/02/06 緯度 : N 2度 27分 経度 : E 145度 42分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 17.0ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



赤道付近の見渡す限りの海の上。気持ちがいいのは、やはり潮風が頬を撫でるオープンデッキ上だと思います。筆者の1日はそんな11デッキ・リドカフェ後方の屋外席で味わう朝ご飯から始まりました。船内新聞『アスカデイリー』に目をやると、きょうも午前中から各所でたくさんの催しが行われているようです。

朝9時からは英語教室やトールペイント教室、10時からはシーホースプールでの水泳教室、10時45分からは7デッキの船尾集合で「デッキを歩こう会」なんていうものもありました。1周すると約440メートルとなる飛鳥IIの7デッキ、歩くだけでもけっこう運動になるんです。

クルーズスタッフと一緒に準備体操をして、真っ青な海を見ながらウォーキング。ほんとうに晴れ晴れとした気分になれますよね。ちなみに夕方遅くに飛鳥IIは赤道を越えて、いよいよ南半球に入っています。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

赤道通過祭

Date : 2015/02/07 緯度 : S 10度 14分 経度 : E 151度 46分 天気 : 曇り 気温 : 27.0度 速度 : 19.0ノット
海域 : 赤道付近 寄港地 : 終日航海日



きょうは一日曇りがち。窓外に見え始めた島影はもっぱら霧に霞んでいました。だからかどうか日中の船内は終日航海日らしいゆったりとした空気に満ちていて、11デッキ前方のパームコートやビスタラウンジに居場所を見つけて静かにコーヒーを愉しむお客さまもいらっしゃいました。

とはいえ夜にはそんな空気も一変。船内中のお客さまたちが「赤道通過祭」を見るためにプールデッキに大集合。船乗りの世界では昔から赤道通過に際して道化芝居をする習慣があり、飛鳥IIでもそれに倣ってスタッフたちが海神ネプチューンや海賊に扮してお祭りをするのです。

お芝居では敵味方入り乱れる戦いの末、ついにキャプテンたちが海賊一味をやっつけました。最後は演者の誰もがプールにドボン！ そんな愉快的スタッフ&クルーたち、そしてたくさんの素敵なお客さまを乗せた飛鳥IIは、立ちのかるニューギニア島を回り込むように向きを変え、南東へ航路を取っています。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

思い出のジョマード水道

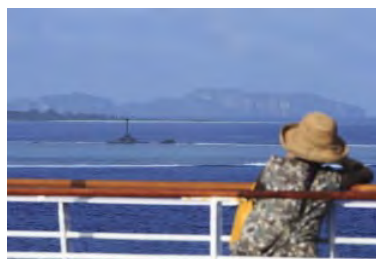
Date : 2015/02/08 緯度 : S 10度 14分 経度 : E 151度 46分 天気 : 曇り 気温 : 28.0度 速度 : 18.6ノット
海域 : ソロモン海 寄港地 : 終日航海日



ニューギニア島を東に避けるかたちで南下した飛鳥IIは、点々と環礁が連なる海域を、まるで鎖の隙間を見つけるようにしてジョマード・エントランスと呼ばれる水道を抜ける航路を進んでいます。23年前、小久江キャプテンが船乗りになって最初に通ったという、思い出深いルートだそうです。

筆者は午前中、飛鳥IIプロダクションキャストのエイミー先生が教えるタップ教室にお邪魔しました。過日のショー『セレブレーション』のダンスを覚えてみましょう、という内容。「最後のポーズさえ決めれば大丈夫！」と先生は言っていましたが、果たして皆さん、思い通りの華麗なステップを踏めたでしょうか。

そして晩は上原正敏さん&高橋維さんの最終夜となるオペラコンサート。ふたりのオペラ歌手の圧倒的な歌唱力が心底素晴らしかったうえ、巧みな話術にもまた拍手喝采。「でもね、お話しに拍手は嬉しいけれど、歌の時より大きな拍手はいらないんです」という上原さんの冗談に、ますます皆さん盛り上がっていました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

影がなくなる日

Date : 2015/02/09 緯度 : S 14度 18分 経度 : E 148度 51分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 14.1ノット
海域 : コーラルシー (珊瑚海) 寄港地 : 終日航海日



船旅も10日を過ぎると、非日常がふと日常になる瞬間に気づくことがあります。きょうの筆者は失礼ながら朝遅く、8時50分のキャプテンによる船内放送で目が覚めました。そんな時は6デッキのビストロに行ってアイスカフェオレを頼み、ドーナツやフルーツなどをつまみます。

朝日や夕日、クジラやイルカ、美しい海と島々の眺め、そして船内の各種イベント……。愉しみを数えればキリがないクルーズライフですが、こんな風に乗船当初の興奮が一段落して朝寝坊した時にこそ、逆に「船旅が日常になってきたなあ」と満ち足りた気分になったりします。

きょうは赤道付近をゆく船ならではの「影がなくなる日」でもありました。12時19分、太陽が飛鳥IIの完全な真上に来たのです。デッキでは皆さんあちこちで記念撮影会。写真右下、ペットボトルにまったく影がないのがお分かりになりますか？



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

アーミーダックとスカイレール

Date : 2015/02/10 緯度 : S 16度 55分 経度 : E 145度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ケアンズ



珊瑚礁の海の隙間に造られた、滑走路のように細い水路を通過して、飛鳥IIは午前7時半にはケアンズ港内で180度反転し、左舷づけで接岸しました。当地はまだ雨季の終盤ですが、雨がちな予報に反して青空と陽射しに恵まれたのは、きっと皆さんの日頃の行いがいいからでしょう。

きょうの筆者は、世界最古の原初の森を訪ねる1日ツアーに参加しました。コアラを抱いて記念撮影したり、第二次大戦で使われた軍用水陸両用車アーミーダックでジャングルに分け入ったり、スカイレールと呼ばれるロープウェイで鬱蒼と茂る森を空中散歩してみたり……。

1億3500万年前から続くこの森には、多数の古代植物や珍しい昆虫もいるそうです。また、3D映画『アバター』の森はここがモデルだそうで、スカイレールの上から絵コンテを描いたとか。真下を見下ろすと、確かにあの映画にそっくりの密林が広がっていました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

グレートバリアリーフ

Date : 2015/02/11 **緯度** : S 19度 34分 **経度** : E 148度 14分 **天気** : 曇り **気温** : 28.0度 **速度** : 16.1ノット
海域 : オーストラリア東岸 **寄港地** : 終日航海日



昨晚ケアンズを出航した飛鳥IIはいったん沖合を航行し、専門の水先案内人「リーフパイロット」のサポートで今朝から再びグレートバリアリーフ内を進んでいます。小久江キャプテンの朝の放送ではそんな解説があった後、初代飛鳥の幡野キャプテンが飛び入り参加して、当時の思い出などを語ってくれました。

ちなみに世界遺産のグレートバリアリーフなら珊瑚礁がさぞ間近に……というわけではありません。モーターボートのように浅瀬を行けませんから、要所で高級リゾートの島やエメラルド色の浅瀬を望んで走ります。

晩には今航初のデッキディナー「オーストラリアンデッキディナー」を開催。ケアンズで積み込んだばかりの新鮮なフルーツはもちろんのこと、ユニークなところでは、当地ならではのカンガルーやエミュー、ワニの肉もありました。最後はお約束のダンスタイム。少し風が強かったけど、どなたも楽しんでいたようですね。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ショパンの極み

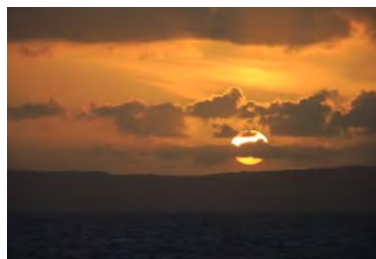
Date : 2015/02/12 **緯度** : S 23度 55分 **経度** : E 152度 58分 **天気** : 曇り **気温** : 27.0度 **速度** : 16.8ノット
海域 : オーストラリア東岸 **寄港地** : 終日航海日



飛鳥IIは引き続きオーストラリア東岸を回り込むようにして南へ向かっています。晴れたり曇ったり、時には通り雨に出逢ったり、変わりやすい天気の日でした。午後4時ごろには世界自然遺産の砂の島「フレーザー島」を左舷に望むようになりました。

逆光に霞む島影はモノクロームの世界でしたが、銀色に輝く海面とデッキに並ぶ船客の皆さんのシルエットが美しく、後ろ姿をそっと撮らせて頂きました。夕焼けも、きょうはなかなか素敵でした。

晩のコンサートはピアノのパノス・カランさん。なんと45分中30分が「クルーズ史上おそらく初」だというショパンのエチュード12曲のノンストップ演奏。変化に富んだ“超”難曲続きのピアノの調べは、本当に素晴らしかったです。曲間の無音も神々しさを感じるほど。まさにピアノに酔いしれた素敵な一夜となりました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

飛鳥IIで星まで

Date : 2015/02/13 緯度 : S 29度 45分 経度 : E 153度 42分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 16.0ノット
海域 : オーストラリア東岸 寄港地 : 終日航海日



昨日の深夜2時に1時間前進の時刻改正がありました。船が東へ向かう際にはかように1日が時折23時間になるわけで、そんな場合の翌朝は、多くの方がゆったりとした午前中を過ごすように思います。眠気も覚めた午後1時、石橋正さんの講演「星のお話」が、150人を超えるお客さんを前に始まりました。

石橋さんは終戦直後から海に出た船乗りで、レーダーもジャイロコンパスもない小さな船で星を頼りに航行する「天測」の経験をお持ちの方。南十字星の見つけ方や星座神話などのさまざまな話を教えてくれました。

左右2台のスライドを駆使する御年89歳。時速約20ノットの飛鳥IIをチャーターして太陽系外の星まで行くとしたら、という例え話もロマンチックで面白かったですね。「いちばん近い星でも1億2900万年。宇宙戦艦ヤマトのように時速1万キロ出せたとしても46万年かかる」のだそうですよ。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

タウンホールのコンサート

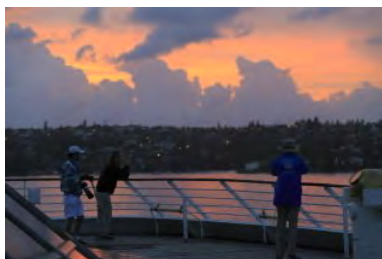
Date : 2015/02/14 緯度 : S 33度 52分 経度 : E 151度 13分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : シドニー



3日間の終日航海をへて、飛鳥IIは世界3大美港のひとつ・オーストラリアのシドニー港に日の出とともに入港しました。キャプテンの計らいで入港を予定より30分ほど早めて朝焼けの時間に合わせるとのこと、皆さん早朝からデッキに出て入港風景を楽しんでいたようです。

午前中は白亜のオペラハウスやハーバーブリッジなどを観光し、夕方はクルーズ特典「シドニー・タウンホールコンサート」に出掛けました。ヴィクトリア様式の立派な市庁舎で、パイプオルガンの演奏と植民地時代の式武官の衣装をまとったタウンクライヤーの開会宣言でコンサートが始まりました。

地元オーストラリアが誇るスティーブ・ワトソン指揮のオーケストラ、ソプラノのケイトリン・ベリー、バリトンのベン・ハドソン。飛鳥IIプロダクションキャストも華麗なダンスで共演した、まさに魅惑の一夜でした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

海の上の囲碁教室

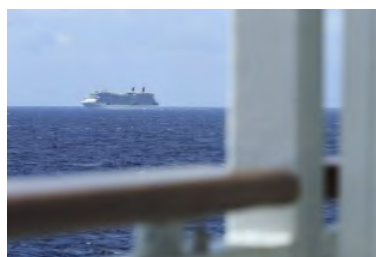
Date : 2015/02/15 緯度 : S 36度 35分 経度 : E 155度 17分 天気 : 曇り 気温 : 22.5度 速度 : 17.9ノット
海域 : タスマン海 寄港地 : 終日航海日



シドニーを出た飛鳥IIはニュージーランドのフィヨルド「ミルフォードサウンド」に向けてタスマン海を航行中です。終日航海日の各種教室は、いまや船客のどなたにとっても日常になったことと思います。さて、今日は、もう8回目になるという囲碁教室にお邪魔してきました。

講師はマイケル・レドモンド先生。NHK囲碁講座でもお馴染みのクールな九段、日本文化への深い理解と流暢な日本語とくれば、船上屈指の人気講師というのもご想像に難くないでしょう。

午後の中級クラスでは、「厚みに近寄るべからず」「切った方を取れ」といった囲碁の格言を交えつつ、前半30分を講義、後半は1対4の指導碁と、お客様同士の対局でひとときを過ごしました。それにしても皆さんの表情の真剣なこと……。海の上の有意義な時間って、こういうことを言うんでしょうね。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

キャプテンの目線

Date : 2015/02/16 緯度 : N 41度 12分 経度 : E 162度 19分 天気 : 曇り 気温 : 17.0度 速度 : 18.7ノット
海域 : タスマン海 寄港地 : 終日航海日



ケアンズやシドニーからの区間乗船のお客様もいらっしゃるので、今朝は今航2度目のブリッジオープンがありました。船内放送では小久江キャプテンが、「今回は救命艇の非常食も展示しますので一度いらした方もぜひ」と仰っていました。「物産展ではないので試食・試飲はできませんが」という冗談も添えて……。

思わず筆者も見に行きました。水と、調理不要のビスケット。それにしても、2度目も楽しめるようにとの配慮はさすが気配り上手の小久江キャプテンですね。実はキャプテン、入港時などにはお客様向け放送のあとに、外国人クルーに向けても英語で「見られる人はクルーデッキで絶景を」なんて案内をしているんです。。

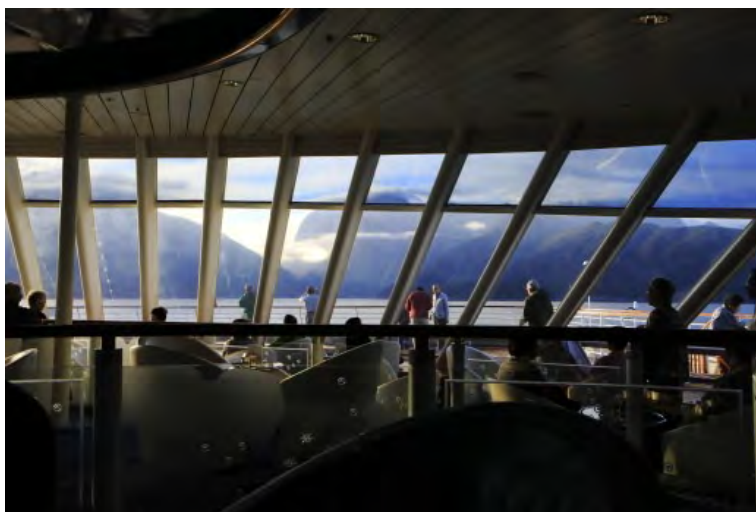
というわけで、きょうのメイン写真は操舵室の特等席、キャプテン目線の眺めにしました。晩のクリス・デーブルさんのコンサート、サックスやクラリネットの音色も圧巻でした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ミルフォードサウンド

Date : 2017/02/17 **緯度** : S 44度 37分 **経度** : E 167度 34分 **天気** : 曇り **気温** : 17.0度 **速度** : 14.9ノット
海域 : - **寄港地** : フィヨルド通航



クルーズのハイライトには、数々の寄港地や見渡す限り大海原の終日航海日だけでなく、運河やフィヨルドを通航するような、両舷に陸地の景色が迫る特別な日もあります。きょうニュージーランド南島に到達した飛鳥IIは、朝から氷河地形・フィヨルドの峡谷へと分け入って航行しました。

世界的にも名高いミルフォードサウンドの峡谷が目前に迫ってきたのは8時過ぎ。急峻で入り組んだ山並みと中腹にかかる雲。11デッキ前方のビスタラウンジに陣取ったお客様から、思わず歓声が上がります。

ビル50階分の落差だというスターリンの滝を眺めたり、空撮のヘリコプターに手を振ったり……。午後にはさらに別の、2つのフィヨルド通航も楽しみました。1年のうち200日以上も雨が降ると言われる一帯ですが、青空も見えるまずまずの好天で飛鳥IIを迎えてくれました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

スロージョギング教室

Date : 2015/02/18 緯度 : S 40度 44分 経度 : E 169度 31分 天気 : 晴れ 気温 : 19.0度 速度 : 15.1ノット
海域 : タスマン海 寄港地 : 終日航海日



朝起きると、窓の向こうの海原がとりわけ穏やかに見えました。ベタナギとまではいかないけれど、ほぼ風（なぎ）の状態で、よく晴れた青空が海面をいっそう深い藍色に染めていました。こんな穏やかな日には、周回できる7デッキに出られるお客様も普段よりだいぶ多くいらっしゃいます。

そういう時こそ参加したい教室が、午後3時から催された「スロージョギング&ダイエット」。担当はフィットネスセンターの土本先生。スロージョギングの特徴は何と言ってもそのユニークな走り方。両手をだらんと下げて小股ですり足、アゴは上げめ。敢えてゆっくり、だらしな〜く走るのです。

このペンギンのような「ぴよぴよ歩き」は、誰でも簡単にできるのに筋肉使用量・カロリー消費量がぐっと増すのだそう。ぴよぴよ歩きの一団がデッキを回る昼下がりには、船上のちょっと愉快的な光景なのでした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

マオリダンス教室発表会

Date : 2015/02/19 **緯度** : N 34度 52分 **経度** : E 172度 14分 **天気** : 晴れ **気温** : 21.0度 **速度** : 15.5ノット
海域 : タスマン海 **寄港地** : 終日航海日



昨日に引き続いて穏やかな航海日が続いています。きょうは朝10時からマオリダンス教室発表会がギャラクシーラウンジで開催されました。乗船中のエンターテイナー、マオリダンスグループ「ハカ・ザ・レジェンド」のメンバーが教えた教室の成果を、お客さまがステージ上で実際に踊って発表する日です。

勇壮で相手を威嚇するような男性の踊り「ハカ」、紐のついたボールを回して踊る女性の「ポイダンス」などを、顔に独特なペインティングをしたお客さまが一生懸命に、そして楽しそうに踊っていらっしゃいました。クルーズ中の楽しみには、こんな風に自らステージに立って発表する機会もあるので

船上では後部デッキからもゲームに興じるたくさんのお客さまの歓声が上がっていて、その声が広い青空に吸い込まれています。夜にニュージーランド北島の北端を回り込んだ飛鳥IIは、オークランドに向かっていきます。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ニュージーランドで牧場体験

Date : 2015/02/20 緯度 : S 36度 50分 経度 : E 174度 46分 天気 : 曇り 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : オークランド



水先案内人を午前7時半に迎えた飛鳥IIは、入り組んだ地形の間を縫うようにしてオークランドの港へ向かいました。岬を右に回り込むと、スカイタワーのそびえる近代的な街並みと、我々の仲間と言うべき同じ日本郵船系列の客船、クリスタル・セレンティが接岸しているのが見えました。

午前中には同船の船内見学を開催。施設の多くが同じ名で、例えばラウンジ「パームコート」はあちらの船にも存在します。あちらのパームコートから我が飛鳥IIを見渡すのも、なんだか不思議な気分です。

さて、午後は「牧場体験とスカイタワー」のツアーに参加。起伏に富んだ田園風景を眺めつつ、牧場まで行ってきました。牧羊犬がヒツジの群れを集めるところやユーモアを交えた毛刈りの実演などを見学し、農業大国ニュージーランドにふさわしい自然と心の豊かさを、思う存分堪能しました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

朝の出航

Date : 2015/02/21 緯度 : S 36度 37分 経度 : E 174度 57分 天気 : 曇り 気温 : 22.0度 速度 : 10.6ノット
海域 : - 寄港地 : オークランド



2日目の朝、飛鳥IIは午前10時にオークランドを出航しました。たいがいの寄港地が夕方出航なので、「停泊はオーバーナイトだけども朝に出航」というケースは割と珍しいと思います。というわけで今朝はクリスタル・セレンティに別れを告げて、飛鳥IIはひと足先に港を後にしたのでした。

プールデッキでは出港時恒例の「ボン・ヴォヤージュ」があり、オークランドから区間乗船されたお客様も加わって出航風景に華を添えていました。船はきのう通った細い水道を再び戻り、「シティ・オブ・セイルズ（帆の街）」の名にふさわしい幾多のヨットに汽笛を鳴らしつつ、沖へと出てゆきました。

晩にはレセプション前のアスカプラザで「セレブレーション カジノ」を盛大に開催。キャプテン以下オフィサーたちがディーラーに扮するなか、一喜一憂するお客様の楽しげな歓声が響いていました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

タヒチアンダンス教室

Date : 2015/02/22 **緯度** : S 30度 58分 **経度** : E 178度 15分 **天気** : 曇り **気温** : 22.5度 **速度** : 14.5ノット
海域 : 南太平洋 **寄港地** : 終日航海日



飛鳥IIはいよいよ南太平洋の海域へと進み、トンガのヌクアロファを目指して北北東へ航行しています。きょうはまさにそうしたクルーズエリアにぴったりの、タヒチアンダンス教室にお邪魔してみました。教えてくれるのはゲストエンターテイナーのマループロダクションズ。

南洋らしい優雅でゆったりとした踊りですが、「いきなり一曲踊っちゃいましょう」という教室の展開に最初は戸惑う顔がちらほら。けれどもパートごとに順を追って行くと、次第に「あれ、意外にできるじゃん!」という笑顔があちこちに見えてきました。最後に通して踊った頃には、どなたもほどよく汗をかかれたようです。

夜は今航2度目のフォーマルナイト。正装のお客様がアペリティフタイムに集う様子はまさに豪華客船の真髄ですね。華やかさ、艶やかさを感じさせる、船旅らしい素敵な1日でした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

鉄人の料理教室

Date : 2015/02/23 緯度 : S 24度 41分 経度 : W 177度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 17.9ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょうで横浜を出て25日目。気づけばもう南太平洋グランドクルーズ50日間の前半が終わります。後半に向けてオークランドからたくさんの新たなゲストエンターテイナーや講師などの方々も乗船されていて、船内の雰囲気はまたちょっと変わって、気分一新、というところでしょうか。

そんな2月23日の午後は、坂井宏行シェフの料理教室がありました。フォーシーズン・ダイニングルームを会場に、家庭でも作れる一品「真鯛のロティ ヴィエノワーズ風 柔らかいカブを添えて」など3品を教わりました。

「飛鳥IIの45分間の教室は1時間番組の『料理の鉄人』よりもキツいんですよ」なんて冗談もありつつ、「料理は作る速さも重要」「何よりも大切なのは段取りと下準備」など、ためになる言葉もたくさんありました。明後日のディナーはいよいよ坂井シェフのフレンチです。今からホント、楽しみです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

2月24日 A (1日目) クルーズ特典観光

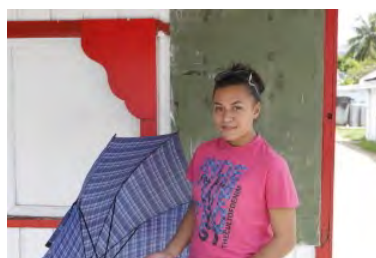
Date : 2015/02/24 緯度 : S 21度 8分 経度 : W 175度 11分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ヌクアロファ



飛鳥IIは今朝、珊瑚礁の隙間を縫うようにしてトンガ王国のヌクアロファに入港しました。近くの栈橋にはイギリスの客船・クイーンエリザベスがひと足先に接岸していて、南の島のクルーズにふさわしい入港風景となりました。街は2隻の客船からのお客様で賑わい、陽気なトンガの人たちもいっそう明るく見えました。

ここではクルーズ特典の招待ツアー「ヌクアロファ島内観光」にたくさんのお客様が参加されました。色も形もさまざまな地元のバスに分乗し、キャプテンクックの上陸した入り江、鳥居のような不思議な遺跡・ハァモンガの三石塔、ホウマの潮吹き穴などを巡り、王宮や教会などを車窓から眺めました。

フレンドリーなトンガの人々は写真に撮られるのが大好き。筆者も街に出て、道端で出会った何人もの人たちと会話を交わし、笑顔をカメラに収めました。皆様もきっと素敵な写真をたくさん撮られたことでしょう。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

2月24日 B (2日目) ハワイアン手芸教室

Date : 2015/02/24 **緯度** : S 19度 28分 **経度** : W 170度 56分 **天気** : 曇り **気温** : 28.0度 **速度** : 14.9ノット
海域 : 南太平洋 **寄港地** : 終日航海日



日付変更線をまたいで東へ向かう今航には2月24日が2回あり、この飛鳥IIの船上では、便宜上それぞれ「24日A」「24日B」と称しています。船内新聞「アスカデイリー」の日付が24日Bのきょうは、午後にリドガーデンで開催されているハワイアン手芸教室にお邪魔してみました。

教えてくれるのはハワイから来たバーバラ先生とロキシー先生です。今回はラウハラ編み小物入れの最終回。編み目を整えて口の部分を折り込み、チャックのついたインナーを取り付けるという作業。最後にサイコロ形のチャームを取り付ければ完成です。素敵な手作り土産になりました。

そしてディナーは待望の坂井宏行ゲストシェフの料理が登場。「マグロとアボカドのタルタル 大根と白板昆布で包んで… マンゴーのソース」は爽やかな酸味が実に美味しく、南洋の暑さを和らげてくれるようでした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

東へ行く船

Date : 2015/02/25 緯度 : S 18度 51分 経度 : W 164度 43分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 15.2ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



「キャプテン・クックよろしく、未知の島を見に行こう」という粋な計らいで、昨夕、飛鳥IIはニウエ島沖を經由しました。それ以後進路をほぼ真東に取り、終日晴天で穏やかな海を航行しています。朝は船首の先に陽がのぼり、夕は船尾のほうへと陽が落ちました。

朝のブリッジオープン（操舵室見学）では、船体側面に張り出したブリッジウイングで絶景を楽しむお客様が多かったですね。真下に望む、藍を流したような海の青さがとりわけ印象的でした。

教室では高橋光代先生の「カラーコーディネート セミナー」が、午前も午後も立ち見が出るほどの盛況ぶり。誕生日から割り出す自分の色・パーソナルカラーを知れば、買う服の傾向が揃って自ずからコーディネートされてお洒落になれる……といったお話に、皆さん熱心に聞き入っていたようです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

飛鳥II就航9周年

Date : 2015/02/26 緯度 : S 18度 48分 経度 : W 160度 0分 天気 : 曇り 気温 : 29.0度 速度 : 12.1ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



仏領ポリネシアのモーレア島へ向けて今まさに大海原を東へ航行中の飛鳥IIは、きょうで就航9周年を迎えました。記念すべきこの日の午前中、初代飛鳥で指揮を執った幡野キャプテン（上左）と、飛鳥IIの小久江キャプテン（上右）の対談「新旧キャプテンよもやま話」がギャラクシーラウンジで開催されました。

対談は台本なしのぶっつけ本番。幡野キャプテンはかつて採用担当だったそうで、小久江キャプテンはその大先輩に「そもそもキミを採用すべしと手を挙げたのがこの僕だったのを、ちっとも覚えていないだろう」と壇上で突然言われてもうタジタジ。客席に大きな笑いと拍手の渦が広がっていました。

小久江キャプテンの旅人歴など意外な裏話にもお客さまは大満足。そんな楽しい空気をそのままに、昼には珊瑚礁が美しい小島を望み、晩には9周年を祝うデッキディナーで盛り上がりました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

コントラクト・ブリッジ教室

Date : 2015/02/27 緯度 : S 18度 19分 経度 : W 154度 37分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 15.2ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



横浜出航以来ずっと講師が変わらず続くロングランの教室のひとつに、6デッキ後方のカードルームを会場とするコントラクト・ブリッジ教室があります。青空にぽっかりと雲が浮かぶ抜群のクルーズ日和のきょうは、その入門クラスに顔を出してみました。教えているのは飛鳥IIでも既にお馴染みの坂本弥生先生です。

4人のプレイヤーが向かい合う2人でチームを組んで戦うこのトランプゲーム、初心者にとってはルールや用語を覚えるのが最初の難関。スペードやハートといったマークのことを「スーツ」と言ったり、切り札を「トランプ」と言ったりするのですが、それくらいはまだまだ序の口。

とはいえ入門クラスも横浜から数えて13回目。どなたも慣れた手つきです。坂本先生お得意のピリッと辛口のコメントがまた面白く、窓辺の明るい光に包まれた、笑顔の絶えない定番教室なのでした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ゴーギャンの島

Date : 2015/02/28 緯度 : S 17度 30分 経度 : W 149度 52分 天気 : 曇り 気温 : 30.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : モーレア島/パペーテ



あたりが朝焼けに染まる午前6時過ぎには飛鳥IIはタヒチのモーレア島目前に到達し、かのゴーギャンが古城のようだと称した屹立する火山性の山並みを望みつつオブノブ湾に錨を下ろしました。大型船の棧橋がないこうした場所では「錨泊」といって沖合に停泊し、テンダーボートに乗り換えて上陸します。

午後になって飛鳥IIに戻ると、デッキ上のお客様の話題がきょうのツアーの報告会のようになっていました。4WD丘陵ドライブ体験は「湾を見下ろす絶景がすごくよかった！」し、無人島体験も「エイやサメがいっぱいで、まるで天然の水族館！」だったそう。皆さんそれぞれに充実の1日だったに違いありません。

上陸地点に街もない入り江でしたが、地元の人たちの笑顔も素敵でしたね。飛鳥IIは夕方には錨を上げて、すぐ隣のタヒチ島パペーテの港に入港しました。客船が3隻並ぶ華やかなリゾート地で夜を迎えています。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

日曜日の島で

Date : 2015/03/01 緯度 : S 17度 32分 経度 : W 149度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 32.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : パペーテ



きょうは快晴、海も空も真っ青でした。ここタヒチは日曜日は大半のお店がお休みという絵に描いたようなのんびり気分の島ですが、飛鳥IIのお客さまには各種ツアーがありますし、パペーテ港周辺でも名産の黒真珠の店など10軒近くの土産店をオープンしてもらう特別待遇もあったので、どなたも楽しんでいました。

筆者は午前中の「パペーテ市内観光」に参加しました。市庁舎や大聖堂を車窓から望み、郊外に足を延ばしてタヒチ博物館へ。火山島や環礁の成り立ちから海洋民族の文化まで、たくさんの展示物が海辺の建物に飾られていました。博物館の売店にいた澄んだ瞳の女の子（左下）にカメラを向けるとはにかみながら笑顔を向けてくれました。

帰路には巨大なスーパーマーケットで自由行動1時間。ガイドさんが当地名物のココナツ石鹸やバニラティーなどを教えてくれて、お土産がたっぷり買えました。こんなツアーの締めくくり方もまた、いいものです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

世界屈指の絶景ビーチ

Date : 2015/03/02 **緯度** : S 16度 31分 **経度** : W 151度 46分 **天気** : 晴れ **気温** : 31.0度 **速度** : 0ノット
海域 : - **寄港地** : ボラボラ島



昨夕パペーテを出航した飛鳥IIは、今朝、日の出とともに環礁の隙間を通してボラボラ島のバイタベ湾へと滑り込みました。先行するイタリアの客船と並んで入り江に錨泊。陽が上るにつれてあたりの景色に色がつき、やがて紺碧の水面の先に目の覚めるような水色の環礁が連なる姿が見えました。

双方の客船のテnderボートがひっきりなしに発着する栈橋は大賑わい。筆者は午前中の「ル・トラックで行くボラボラ島内観光」に参加して、乗り合いトラックで島をひと巡り。窓からの風に頬をなでられながら、水上コテージ群を一望する高台や世界屈指の絶景・マディラビーチを観光しました。

午後は水着に着替えて四輪バギーをレンタル。マディラビーチに改めて出掛けてみました。遠浅の海に入ると、水は吸い込まれそうなくらいに澄んでいて、まさに南太平洋の楽園と呼ぶにふさわしい別世界でした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

遙か彼方でひなまつり

Date : 2015/03/03 緯度 : S 11度 14分 経度 : W 153度 24分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 17.6ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



ひとたび港を出ると毎日24時間走り続ける飛鳥II。私たちはこの船で遙か南太平洋までやってきました。船の心臓部である機関室紹介のトークイベントを聞いた今朝は、船尾に延びる航跡にも違った感慨を覚えます。

思えば1月末に冬に別れを告げて以後、ひと月以上も陽射し目映い大海原を旅している私たち。とにかく季節感を失いがち……かと思いきや、決してそうではありません。数日前から飛鳥IIの船内にはひな人形がきちんと飾られていて、きょう3月3日のディナーも桃の節句にちなんだものでした。

フォーシーズン・ダイニングルームで供された夕食は、前菜の海鼠共和え、山菜胡桃和え、左近の桜・右近の橘・菱餅の3品に始まって、真鯛の焼き霜松皮造り、海老あられ揚げ、蟹ちらし寿司、甘味の桜餅・桜ブランマンジェ等々。慣れ親しんだ日本の味が、春の訪れを思い出させてくれました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

デッキの上でウクレレ作り

Date : 2015/03/04 緯度 : S 4度 10分 経度 : W 155度 35分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 18.3ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



きょうは再びの「影がなくなる日」。お昼時の12時34分頃、太陽が飛鳥IIのほぼ真上に来ました。太陽は1年をかけて北回帰線から南回帰線までの間を行き来するわけですから、これは北回帰線のさらに北にある日本では体験できない現象です。今航2度目のこの機会を、皆さんデッキで楽しんでいました。

そのあと午後1時30分からプールデッキの片隅で開催されたのが、ハワイから来たガイ・ササキ先生の「ウクレレ作り教室」です。ガイ先生が組み立ててくれた白木のウクレレを、紙ヤスリとスチールウールで丁寧に磨いて、ウッドフィラーというペーストを擦り込んで木目を埋めてゆきます。

あっという間に美しい木目が浮き上がると、どなたも満面の笑み。きょうから4日連続の教室で、オイルを塗って弦を張り、完成させます。あとでウクレレ発表会で演奏もするそうですから、今から楽しみです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

船上のピアノ教室

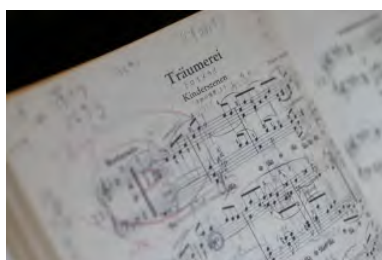
Date : 2015/03/05 緯度 : N 2度 45分 経度 : W 157度 25分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 18.2ノット
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIのロングクルーズはさまざまな教室があることでも好評ですが、筆者がとりわけ優雅で美しい教室風景だなあと思うのは、やはり門真帆先生（右下）による「ピアノ教室」の個人レッスンです。きょうはその会場となる6デッキ後方、マリナーズクラブにお邪魔してみました。

個人レッスンのお客様は技量も経験もさまざまです。結婚や子育てで一度はやめたけれども再開した方、ピアノに憧れてゼロから船上で始める方、第二の人生の趣味として既にピアノを楽しんでいる方……。きょうのお客様は「四十、五十の手習い」で鍛えた腕前を再び呼び覚ますべく、参加されていると伺いました。

外光がひとときわ明るく感じる落ち着いた空間で、優しい先生と1対1でのピアノの練習。たっぷりと時間がある海の上で自分のペースで教えてもらえるなんて、素敵のひとつときだとは思いませんか。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ハワイの風

Date : 2015/03/06 緯度 : N 10度 2分 経度 : W 156度 29分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 18.3ノット
海域 : ハワイ近海 寄港地 : 終日航海日



昨今の船内は、にわかにハワイの雰囲気満ちてきました。ハワイにまつわる教室が多数開催されているからですが、中でも我々がクルーズダイレクター・ボブ田中（上右）のウクレレ教室は定番中の定番。「みなさま、テンポはも〜っとミリミリ（ゆっくり）ですよ」なんて、時にハワイ語や英語も混ざる、明るい教室です。

ハワイ島コナ育ち、1993年から初代飛鳥、飛鳥IIと乗り組んで長らくエンターテイメントに関わってきた彼は、たくさんのお客様はもちろん、クルーやスタッフからも親しみを込めて「ボブさん、ボブさん」と呼ばれています。そんな彼が乗り組むのも実は今航の「南太平洋グランドクルーズ」で最後になりました。

楽しい船上生活は彼の努力があってこそ。だからボブさんの最後の航海と一緒に乗れてよかった。そんな声が方々から聞こえます。寂しいけれど、彼の心はこの船のよき伝統として必ずや受け継がれることでしょう。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

華やかさと親しみやすさと

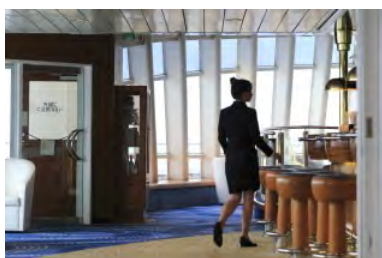
Date : 2015/03/07 緯度 : N 17度 9分 経度 : W 155度 19分 天気 : 曇り 気温 : 25.0度 速度 : 17.8ノット
海域 : ハワイ近海 寄港地 : 終日航海日



飛鳥IIの魅力を訊ねると、多くの方が決まって仰る言葉のひとつが「アットホームな感じ」です。豪華客船はその名に違わずきらびやかな場所とはいえ、やはり同時に必要なのが親しみやすさだろうと思います。そんなことを改めて思い出させてくれたのが、今宵の「タミー・シャフ コンサート」でした。

リピーターのお客様が「タミちゃん、タミちゃん」と嬉しそうに声をかける姿を何度も見掛けるように、彼女はもとは飛鳥プロダクションショーのリードボーカルとして、また専属シンガーなどとして飛鳥・飛鳥IIと15年間をともにした人。今回、ママになって5年ぶりに、ゲストエンターテイナーとして戻ってきたのです

冗談まじりの達者な日本語で日本の歌謡曲をユーモアたっぷりに、艶やかに歌います。彼女と長らく一緒に働いてきたクルーズダイレクターのボブさんもマイクを握り、その歌声で彼女を歓迎してくれました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

ボブさんのためのデッキディナー

Date : 2015/03/08 緯度 : N 20度 51分 経度 : W 156度 41分 天気 : 曇り 気温 : 22.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ラハイナ/マウイ島



赤道をまたぐ中5日の終日航海を終え、今朝早く飛鳥IIはハワイのマウイ島ラハイナ沖に錨を降ろしました。ホエールウォッチングで世界的にも有名な入り江だけに、デッキから海を見渡すだけで、あちらこちらでクジラが潮を吹き、ジャンプし、そして尾ひれを高く上げて潜ってゆきます。

クジラもすごいし観光も楽しかったけど、きょうという日のすべては出航後の「ハワイアンデッキディナー」に集約されていたと思います。ウクレレ教室やフラ教室の発表会に加えて、今航で船を降りるクルーズダイレクターのボブさんにありがとうを、22年間お疲れさまを告げる会でもあったからです。

スタッフのサプライズで特設スクリーンに映し出されたボブさんの思い出の写真の数々を見るうちに、会場の誰もが思わず涙目に……。まさに「飛鳥にこの人あり」。ボブさん、本当にお疲れさまでした！！



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

それぞれのハワイ

Date : 2015/03/09 緯度 : N 21度 19分 経度 : W 157度 52分 天気 : 晴れ 気温 : 27.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ホノルル/オアフ島



今朝7時、飛鳥IIはホノルルのアロハタワー脇に接岸しました。筆者は特別に撮影許可を得てブリッジ内にいたのですが、入港時の緊張感と接岸後の充足感が手に取るように伝わってきました。「ここは港の入り口が狭くて流れが速いから、船が流されないよう、ある程度の速度で入らないといけない」のだそうです。

南太平洋グランドクルーズ最後の寄港地として立ち寄るここホノルルは、どなたにとっても特別の場所だと思います。楽しみ方も人それぞれ。日本から呼び寄せたご家族を舷門で迎え、お孫さんを抱いて嬉しさいっぱいのお客様や、「ホノルル在住のお友達に街を案内してもらおうのよ」という方もいらっしゃいました。

筆者も地元の友人とマリーナを望むレストランに出掛け、噴火口のかたちのがはっきり分かるダイヤモンドヘッドを丘上から眺めてきました。お天気にも恵まれたホノルルを、皆さん楽しまれたことと思います。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

お土産パラダイス

Date : 2015/03/10 緯度 : N 21度 19分 経度 : W 157度 52分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : ホノルル/オアフ島



ホノルル滞在2日目を迎えた今朝、筆者は多くのお客様とともに朝9時半桟橋発のシャトルバスで市街に出ました。常にリゾートの賑わいを見せるワイキキ帯でも、まだ人出の少ない朝方のビーチは、ふと「穏やかなハワイ」が顔を覗かせるお勧めの時間帯かもしれません。

また、ハワイはお土産の充実度でも世界屈指と言えるでしょう。クッキー、コーヒー、マカダミアナッツなどから、免税ブランド、あるいは南国をイメージした服や食器やバッグなど、挙げればきりがありません。

お土産袋をいくつも抱えたお客様と船に戻り、飛鳥IIは定刻17時に出航しました。キャプテンの計らいで夕日に輝くダイヤモンドヘッド沖に寄り道してから、大きく弧を描いて進路を西へ。晩には大村崑&瑤子のおふたりによる「ヨーコン ショー」。きょうも1日、楽しかったですね。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

日本へ向けて

Date : 2015/03/11 緯度 : N 22度 1分 経度 : W 163度 55分 天気 : 晴れ 気温 : 21.5度 速度 : 17.8ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



2日間のホノルル滞在を満喫したお客様を乗せて、飛鳥IIはついに故郷の日本に向けて舵を切りました。午前中のキャプテンズトークで初代飛鳥の元船長・幡野キャプテンが「きょうを境に半袖は仕舞っているですよ」と仰った通り、デッキの風は明らかに南国に別れを告げる涼しさになってきました。

日本への想いが募る中、今宵のギャラクシーラウンジでは、まさに待望の、そして飛鳥IIのお客様には既にお馴染みでもある、つのだ☆ひろさんのコンサートが催されました。バンドメンバーたちのエネルギッシュな演奏をバックに、つのださんが懐かしの歌謡曲をたくさん歌ってくれました。

「ラジオの生放送を10年450回やって歌謡曲のオーソリティになった」つのださんですが、何と「歌謡曲を歌うのは飛鳥IIの上でだけ」。あの頃を思い出す、そして身震いするほどのステージ。本当に素敵でしたね。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

船上の創作意欲

Date : 2015/03/12 緯度 : N 24度 11分 経度 : W 171度 53分 天気 : 曇り 気温 : 18.5度

速度 : 18.3ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



ロングクルーズ初心者の方からよく聞かれる質問は「退屈しないのか」ですが、実は終日航海が続く時こそ却ってゆっくりと自分の時間を持てるものです。日頃の雑事をすべて陸地に置いてきた今こそ取り組める趣味のひとつが、たとえばこの、東京藝術大学非常勤講師・藤原彩人先生の「テラコッタ教室」だろうと思います。

この日は3回完結「本焼きコース」の第2回。粘土でカタチを作った前回に続き、今回は素焼きされた作品をヤスリがけして下絵の具で彩色します。薄めに溶かれた絵の具を筆で表面に置くと、すーっと吸い込まれてゆくのも焼き物ならではの感覚。彩色は自分のイメージがいっそう具体化してゆく楽しい工程です。

最後に先生が石灰透明釉にドブ漬けしてくれて、これが焼かれてガラス質に変わります。16日の最終回には、皆さんの素敵な作品がテーブル上に並ぶことでしょう。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

洋上の日々

Date : 2015/03/13 **緯度 :** N 26度 40分 **経度 :** W 178度 55分 **天気 :** 曇り **気温 :** 20.0度

速度 : 17.1ノット

海域 : 太平洋 **寄港地 :** 終日航海日



昨夕いくらか高かった波も収まって、朝の船上には穏やかな終日航海日の空気が漂っていました。きょうも各種教室が目白押し。窓外も相変わらず見渡す限りの大海原。非日常が日常に変わる瞬間とでも言いましょうか、こんな日が「普通の日」だと感じる時こそ、船旅っていいなあと改めて思います。

昼にリドガーデンに赴くと、フレンチの鉄人・坂井宏行シェフがお客様の前で「ホタテの春巻き シャンピニオンソース」を作っていました。シェフ特製メニューはグリーンアスパラの冷製スープと合わせて2品。ほかにもリドカフェには3月13日の「サンドイッチの日」にちなんだ数々のサンドイッチが……。

美味しいランチを味わったあと、写真教室講師でもある筆者は、第7回・最終回となる写真教室をハリウッドシアターで催しました。このクルーズもいよいよ終盤だなあと実感しているところです。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

乗ればこそ、の話

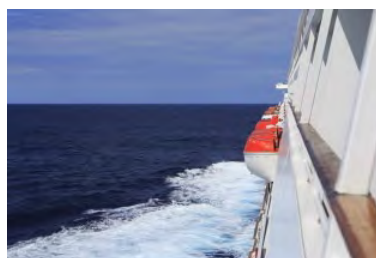
Date : 2015/03/15 緯度 : N 29度 21分 経度 : E 173度 29分 天気 : 曇り 気温 : 20.5度 速度 : 18.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



日付変更線を西へまたいだ船上では3月14日のホワイトデーが消滅し、きょうの日付は3月15日。こんな出来事はもちろんですが、飛鳥IIの船旅には、乗船者こそ知る楽しみがたくさんあります。

午前中に6デッキ後方で白熱していたのは「ディスカロタイム」(左下)。船内ではほぼ毎日こうしたゲームイベントがあって、参加したり大会で入賞する度にチケットが貰え、貯めた点数に応じてオリジナルグッズなどと交換できるのです。記念品交換期限が4日後に迫るいま、どなたもラストスパートに入っています。

また、日曜日の夜にだけクラブ・スターズで行われる「日曜の夜はしゃべらナイト」(上)も密かな人気。乗組員をゲストに迎えるカジュアルトークで、最終回の今晚は小久江キャプテンが登場して満員御礼。キャプテンが乗船前日に必ず食べる大好物が鳥の唐揚げニンニクソースだってこと、ご存知でしたか？



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

故郷の調べ

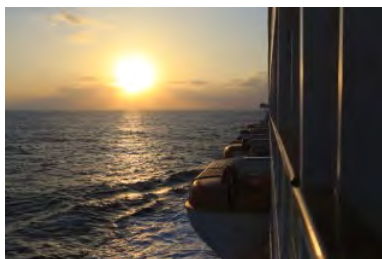
Date : 2015/03/16 **緯度** : N 31度 26分 **経度** : E 165度 48分 **天気** : 晴れ **気温** : 17.0度 **速度** : 17.4ノット
海域 : 太平洋 **寄港地** : 終日航海日



ここ数日でオープンデッキがすっかり肌寒くなり、いよいよ日本に近づいてきたことを感じます。下船のための梱包用段ボールも販売され、船内には「南太平洋グランドクルーズ」総仕上げの空気が漂い始めました。

とはいえイベントは相変わらず早朝のラジオ体操からストレッチやズンバ、社交ダンスといった各教室、つのだ☆ひろの歌って元気になる教室など、船内新聞の一覧表を埋め尽くすほど。晩のギャラクシーラウンジで催された福居一大・ぐる一歩の「心に響く和の音色コンサート」も実に圧巻でした。

『蘇州夜曲』『江差馬子唄』、そして『秋田荷方節』飛鳥バージョンなど、叙情とキレとリズムに満ちた多彩な演目に大盛り上がり。異例の「アンコールのアンコール」まで飛び出して、最後は福居さんの独奏『津軽じょんがら節』の早弾き。満席の会場から惜しめない拍手が送られていました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

艶やかな夜

Date : 2015/03/17 緯度 : N 32度 59分 経度 : E 158度 22分 天気 : 曇り 気温 : 16.0度 速度 : 15.5ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



船内生活の優雅さといえば、やはり毎晩のショーを筆頭とする大人の雰囲気こそが最たるものだと思います。今宵はゲストエンターテイナーによる本航最後の演目「つのだ☆ひろ&麻倉未稀 コンサート」。「シャボン玉ホリデー再び」をテーマに据えて、懐かしいメロディを、おふたりのパワフルな歌声で堪能できました。

また、全教室中で最もロングランであろう、ここまで34日50時間も開催されてきたダンス教室も、21時45分からの「たなかいさお ダンスパーティー」で総仕上げ。たなかいさお先生（左下）のデモンストレーションを始め、教室に通った皆さんもその成果をたくさんのお客様の前で披露しました。

先生曰く「お客様の熱意で」当初は予定になかったタンゴも皆で踊ることになったそう。約30分のパーティーは大いに盛り上がり少々延長。最後にはフロアに全員集まって、笑顔で記念写真を撮りました。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

新たな時代へ

Date : 2015/03/18 緯度 : N 34度 4分 経度 : E 150度 45分 天気 : 曇り 気温 : 18.0度 速度 : 16.1ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



ご乗船中の橋田壽賀子さんの厚意で実現したトークショーから始まったきょうは、本航最後のフォーマルの日。日中はゆったりとした雰囲気でしたが、夕方の船内はタキシードやドレス姿のお客様で溢れていました。

キャプテンズ・フェアウェルパーティーでは、横浜出港時には居合わせなかった若いクルーも紹介されました。なかでも、これを最後に船を降りるベテランのクルーズダイレクター・ボブ田中に代わって今後エンターテインメントチームを率いる小川・増田の両名がコールされた時の、ボブさんの表情が印象的でした。

筆者には、これまでも右腕として活躍してきた後進に厚い信頼を寄せていて、「あとは託したぞ」と言っているように見えました。小久江キャプテンの就任もそうですが、この南太平洋グランドクルーズは飛鳥IIにとって新たな歴史を切り拓く特別な航海なのかもしれません。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

クルーショー

Date : 2015/03/19 **緯度 :** N 34度 24分 **経度 :** E 143度 46分 **天気 :** 雨 **気温 :** 18.0度 **速度 :** 13.9ノット
海域 : 太平洋 **寄港地 :** 終日航海日



南太平洋グランドクルーズ最後の航海日となるきょうは、船内イベントが少なめの「ローアクティビティー・デー」。日中は多くのお客様が客室内を片付けて、スーツケースや段ボールへと荷物を収めていたはずです。

そんな中でも午後にはコンパスルームで「飛鳥II 芸術展」が開催され、写真やスケッチ、テラコッタ、その他自慢の手作りの品々と、お客様が航海中に作り上げた力作が会場に並びました。また、今夜のメインイベントと言え、やはりギャラクシーラウンジでのクルーショー「ハワイコール」に違いありません。

小久江キャプテン以下オフィサー陣、ハウスキーパー、料飲部門、ホテル部など、船内で日頃見掛ける各部署のたくさんのクルーやスタッフたちが、フラや歌などの出し物を披露してくれました。ロングクルーズ最終夜の恒例行事でもあるクルーショー。今航のそれはまた格別に、心温まる素敵なひとときでした。



Cruise : 2015年南太平洋グランドクルーズ (50)

南太平洋グランドクルーズ、本日完結

Date : 2015/03/20 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 曇り 気温 : 13.5度 速度 : 0ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



ホノルル出航から数えて9日目の朝、飛鳥IIは最終目的地となる母港・横浜へと帰ってきました。午前6時半には貨物船の行き交う浦賀水道を北航し、ベイブリッジをくぐり抜け、定刻9時に大さん橋に着岸しました。

南国の楽園ばかりを訪ねてすっかり季節が分からなくなったのか、筆者は一度スーツケースにしまったダウンジャケットを今朝、慌てて引っ張りだしました。もうすぐ桜が咲くとはいえ、長らく飛鳥IIの船上にいた我々からすると日本はまだまだ寒く感じます。

7デッキに出てみると、栈橋のご家族やお知り合いに向かって「ただいま〜!」と叫ぶ姿や、お世話になった人たちと別れの挨拶を交わす姿が方々にありました。どなたも笑顔で、そしてちょっぴり涙を浮かべていたり。飛鳥IIのお客様とクルー・スタッフたちによる50日間の物語、ついにこれにて完結です!

